

<書誌>

書誌 / 哲学教育

渡 邊 浩 一 編

凡例・註記

- ・日本語で執筆された哲学教育に関する文献（翻訳を含む）の包括的調査の経過報告として、2017年3月31日時点で現物を閲読しえたものを記載する*。
- ・文献は出版年別にまとめ、〈書籍・学位論文〉〈雑誌特集・報告書〉〈論文・記事・ノート〉の区分のもと、それぞれ50音順に記載する。
- ・書誌情報は原則として、①著者・編者（／訳者）、②出版年、③タイトル・特集名、④出版社・掲載誌、⑤掲載頁を順に記載する。
- ・本調査は、JSPS 科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）「リベラルアーツとしての哲学の歴史的・批判的研究」（16H07358）の補助に基づくものである。

1957年（昭和32年）

<書籍・学位論文>

ジルソン、エティエンヌ／稲垣良典 [訳] (1957) 『哲学史と哲学教育』ヴェリタス書院

<論文・記事・ノート>

川中康弘 (1957) 「ジルソンと哲学教育」エンデルレ書店『世紀』93, 25-29

※ なお、今回の報告に先立って、「哲学教育を再考する～学位プログラム・学修成果・アセスメントの観点から～」(2017年2月22日、京都大学芝蘭会館)での報告に際して、本書誌のプロトタイプ「書誌／哲学教育 Ver.0」を参考資料として公開した。

1966年 (昭和41年)

〈論文・記事・ノート〉

カルタフチャン・ベトロフ / 門上秀叡 [訳] (1966) 「ソヴィエトにおける哲学教育について」『東京経済大学人文自然科学論集』12, 122-129

1973年 (昭和48年)

〈論文・記事・ノート〉

白井成雄 (1973) 「LAGNEAU 及び DARLU を中心にして」『名古屋大学教養部紀要 外国語・外国文学』17, 204-233

1976年 (昭和51年)

〈論文・記事・ノート〉

白井成雄 (1976) 「フランスの中等教育課程における哲学教育」『名古屋大学教養部紀要 外国語・外国文学』20, 221-264

1977年 (昭和52年)

〈論文・記事・ノート〉

宇藤昌吉 (1977) 「哲学教育に関するアメリカ国内研修会議」日本大学松戸歯学部『一般教育紀要』3, 63-68

1979年 (昭和54年)

〈論文・記事・ノート〉

白井健三郎 (1979) 「哲学教育・デリダ・ヘーゲル」岩波書店『世界』404, 14-18

1980年（昭和55年）

〈論文・記事・ノート〉

宇藤昌吉（1980）「哲学教育の一目標について」日本大学松戸歯学部『一般教育紀要』6, 76-85

1981年（昭和56年）

〈雑誌特集・報告書〉

理想社〔編〕（1981）「特集 教養としての哲学」『理想』575, 2-97

〈論文・記事・ノート〉

池永 澄（1981）「ひとつの方法——教養としての倫理学」理想社『理想』575, 46-53

大坪重明（1981）「哲学教育について——特に一般教育における「哲学」について」理想社『理想』575, 2-13

川原栄峰（1981）「哲学をからだで見せてやれるかということ——一般教育科目「哲学」講義三十年」理想社『理想』575, 22-29

桑木 務（1981）「教養としての哲学」理想社『理想』575, 14-21

佐藤徹郎（1981）「哲学の経験」理想社『理想』575, 72-78

武田弘道（1981）「「教養」における哲学」理想社『理想』575, 87-97

土屋盛茂（1981）「教養としての科学哲学」理想社『理想』575, 38-45

手代木保（1981）「大学生の「鏡の中に自己を視る」現代性——「青年教育の幹」としての哲学」理想社『理想』575, 54-63

パレス, フランシスコ（1981）「哲学と人間存在」理想社『理想』575, 79-86

間瀬啓允（1981）「教養の哲学」理想社『理想』575, 30-37

宮本十蔵・松井正樹（1981）「大学での一般教育としての哲学教育についての試論」『岐阜大学教養部研究報告』17, 1-8

山下秀智（1981）「「交わり」概念への一視点」理想社『理想』575, 64-71

1985年 (昭和60年)

〈論文・記事・ノート〉

シュベネマン, K (1985) 「哲学の教授法—現実的な問題への一考—」同志社大学文化学会『文化学年報』34, 1-22

1987年 (昭和62年)

〈論文・記事・ノート〉

宇藤昌吉 (1987) 「哲学教育に関する第六回国際研修会議」日本大学松戸歯学部『一般教育紀要』13, 113-126

1990年 (平成2年)

〈論文・記事・ノート〉

稲生 勝 (1990) 「哲学教育と自然科学教育への一視角」『和光大学人文学部紀要』25, 203-209

ベレスーヴァレラ, E / 宮代和子 [整文] (1990) 「哲学教育のための戦略」上智大学哲学科『哲学科紀要』16, 1-27

1991年 (平成3年)

〈論文・記事・ノート〉

ベレスーヴァレラ, E / 宮代和子 [訳] (1991) 「哲学教育のための戦略 (その二)」上智大学哲学科『哲学科紀要』17, 93-116

1995年 (平成7年)

〈書籍・学位論文〉

宇藤昌吉 (1995) 『哲学教育方法論』近代文藝社

〈論文・記事・ノート〉

沢田允茂(1995)「カルト対策に有効な哲学教育」『朝日新聞』1995年6月27日朝刊

1996年(平成8年)

〈論文・記事・ノート〉

佐々木一也(1996)「哲学の授業と授業評価」立教大学全学共通カリキュラム運営センター『大学教育研究フォーラム』1, 123-141

村田邦子(1996)「工学系学部における哲学教育の評価——教授システムの再構築に向けて」『日本教育工学会研究報告集』JET96-2, 123-126

村野宣男(1996)「哲学の授業—自由をテーマにして—」文教大学教育研究所『文教大学の授業』2, 1-4

1997年(平成9年)

〈論文・記事・ノート〉

西野真由美(1997)「オーストラリアにおける子どものための哲学教育——思考力を育成する道徳教育のための一考察——」日本比較教育学会『比較教育学研究』23, 159-162

王 立波・香川知晶(1997)「哲学教育の中日比較—中国の現状—」『山梨医大紀要』14, 45-49

1998年(平成10年)

〈論文・記事・ノート〉

岩田文昭(1998)「哲学教育と差別問題—『青い目茶色い目』の教材使用—」『大阪教育大学教育実践研究』7, 83-92

元春智裕(1998)「現在ロシア哲学事情 第一回 哲学教育・研究の新しい理念」大阪唯物論研究会哲学部会『季報唯物論研究』66, 112-121

安田 尚 (1998) 「リセにおける哲学教育」上越教育大学社会科教育学会『上越社会研究』13, 1-10

1999年 (平成11年)

〈論文・記事・ノート〉

嶋崎 隆 (1999) 「ギムナジウムにおける哲学教科書の紹介・検討——「哲学」のない日本へむけて」一橋大学一橋学会『一橋論叢』121 (2), 299-317

中村行秀 (1999) 「日本の大学と哲学教育」『千葉短大紀要』26, 1-24

山口信夫 (1999a) 「1843年のマルセーユにおけるバカロレア：アンリ・イスナール君の死をめぐる——十九世紀フランスにおける哲学教育の思想史的研究 (1) ——」『岡山大学文学部紀要』31, 15-35

山口信夫 (1999b) 「哲学教師の誕生：リヨン大学文学部哲学教授フランシスク・ブーイエの場合——十九世紀フランスにおける哲学教育の思想史的研究 (2) ——」『岡山大学文学部紀要』32, 27-39

2000年 (平成12年)

〈書籍・学位論文〉

嶋崎 隆 (2000) 『ウィーン発の哲学 文化・教育・思想』未來社

〈雑誌特集・報告書〉

日本哲学会 [編] (2000) 「共同討議 I : 大学教育における哲学の意義」『哲學』51, 47-60

〈論文・記事・ノート〉

柴田隆行 (2000) 「哲学館 (東洋大学) における哲学史講義」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』9, 85-103

- 長谷川晃(2000)「〈法〉の解釈的再構成、あるいは法哲学教育の意義——一研究者の視角から」現代人文社『司法改革』1(11), 22-25
- 宗像 恵(2000)「近年の大学改革と哲学教師の仕事」日本哲学会『哲學』51, 47-60
- 森 芳周[訳](2000)「ソクラテック・ダイアローグ」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』7, 4-19

2001年(平成13年)

〈雑誌特集・報告書〉

- 大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室[編](2001)「特集：教室のなかの／そとへの哲学——高校で哲学を教える」『臨床哲学のメチエ』8, 3-25
- 関西哲学会[編](2001)「課題研究／哲学の教育」『アルケー』9, 121-165

〈論文・記事・ノート〉

- 会沢久仁子(2001)「教育における現実と理念——大塚先生と堀先生の授業から見えるもの」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』8, 19-25
- 上利博規(2001)「哲学教育と大学」静岡大学哲学会『文化と哲学』18, 19-29
- 安部 浩(2001)「哲学教育の将来について」関西哲学会『アルケー』9, 121-131
- 大塚賢司・堀 一人ほか(2001)「哲学教育の可能性と不可能性——高校の授業から」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』8, 6-18
- 柴田隆行(2001)「日本の哲学教育史(上)」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』10, 161-184
- 寺田俊郎(2001a)「レオナルド・ネルゾンのソクラテス的方法」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学』3, 61-72
- 寺田俊郎(2001b)「対話と真理——ソクラテック・ダイアローグの理論的前提——」大阪大学大学院文学研究科『待兼山論叢 哲学篇』35, 47-61
- 徳永哲也(2001)「基礎リテラシー・総合科目と哲学教員の役割」関西哲学会『アルケー』9, 132-141
- 中岡成文(2001)「いかなる哲学のための、いかなる教育か」関西哲学会『アルケー』9,

142-151

- 中畑正志 (2001) 「哲学の教育——過去そして現在」関西哲学会『アルケー』**9**, 152-165
- 丸山徳次・松尾宣昭ほか (2001) 「丸山先生・松尾先生対談「哲学教育のあり方について考える」」龍谷哲学会『龍谷哲学』**27**, 1-25
- 村田邦子 (2001) 「哲学教育の意義と可能性——大学における「心の教育」を求めて」『日本大学教育制度研究所紀要』**32**, 93-112
- 森 芳周 (2001) 「哲学教育において評価はどう行われるべきか」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』**8**, 26-28

2002年 (平成14年)

〈論文・記事・ノート〉

- 近藤晴代 (2002) 「フランスのリセにおける哲学教育の目的——「1925年通達」を中心に——」『日仏教育学会年報』**9**, 115-123
- 柴田隆行 (2002) 「日本の哲学教育史 (中)」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』**11**, 189-216
- 三浦隆宏 (2002) 「高校での哲学教育」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』**10**, 17
- 山口信夫・成田常雄・稲村秀一・北岡武司 (2002) 「岡山大学文学部哲学倫理学教室の教育改革とフランスにおける哲学教育」『岡山大学文学部紀要』**37**, 21-44

2003年 (平成15年)

〈雑誌特集・報告書〉

- 大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室 [編] (2003) 「特集：高校での哲学教育おとなたち、こーこーせいに出会う」『臨床哲学のメチエ』**11**

〈論文・記事・ノート〉

- 太田光一 (2003) 「会津大学に哲学の授業は必要か—「哲学概論」講義経過報告—」『会

津大学文化研究センター研究年報』10, 111-123

篠原成彦(2003)「第35回大会(2002年)ワークショップ記録 哲学者にならない人のための哲学教育」日本科学哲学会『科学哲学』36(1), 151-154

柴田隆行(2003)「日本の哲学教育史(下の1)」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』12, 173-197

永井宏欣(2003)「一生徒と教師のための哲学対話— または 根源的道德教育としての哲学教育」日本道德教育学会『道德と教育』47(3・4), 223-254

2004年(平成16年)

〈論文・記事・ノート〉

柴田隆行(2004)「日本の哲学教育史(下の2)」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』13, 107-129

鷺田小彌太(2004)「哲学教育の過去・現在・未来」札幌大学経済学会『経済と経営』35(1), 101-118

2005年(平成17年)

〈書籍・学位論文〉

西川富雄(2005)『哲学教師の五十年』こぶし書房

〈雑誌特集・報告書〉

大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室[編](2005)「特集 臨床哲学の現在— 哲学カフェ／高校での哲学教育」『臨床哲学のメチエ』14

〈論文・記事・ノート〉

内田詔夫(2005)「哲学と教育と日常の接点— 日常の学習や生活に即して自ら考えさせ人間理解を深めさせるための哲学教育を目指して」『東北哲学会年報』21, 63-69
紀平知樹・寺田俊郎・山本麻紀子・高嶋麻衣子・稲葉一人・森 芳周・屋良朝彦・西

- 村高宏・中岡成文・玉地雅浩 (2005) 「洛星高校での授業について」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』**14**, 25-29
- 柴田隆行 (2005) 「日本の哲学教育史 (下の3)」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』**14**, 109-131
- 三浦隆宏・西川 勝・稲葉一人・会沢久仁子・紀平知樹・樫本直樹・相川千春・桑原英之・山本麻紀子・高嶋麻衣子・岸田 智 (2005) 「「出会いのてつがく2003」@福井高校」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』**14**, 11-24

2006年 (平成18年)

〈雑誌特集・報告書〉

- SOCIETAS PHILOSOPHIAE DOSHISHA [編] (2006) 「シンポジウム「大学における哲学教育」」『同志社哲學年報』**29**, 1-82
- 中部哲学会 [編] (2006) 「シンポジウム：哲学教育をめぐる」『中部哲学会年報』**38**, 1-36

〈論文・記事・ノート〉

- 新 茂之 (2006) 「教養教育における哲学教育——中部学院大学の現状から——」SOCIETAS PHILOSOPHIAE DOSHISHA『同志社哲學年報』**29**, 1-16
- 隈元泰弘 (2006) 「「大学における哲学教育」の意義と課題——シンポジウム総括——」SOCIETAS PHILOSOPHIAE DOSHISHA『同志社哲學年報』**29**, 56-82
- 倉本 香 (2006) 「大学における哲学教育の意義——教員養成における——」SOCIETAS PHILOSOPHIAE DOSHISHA『同志社哲學年報』**29**, 17-35
- 柴田隆行 (2006) 「日本の哲学教育史における「哲学」の外延と内包」東洋大学井上円了研究センター『井上円了センター年報』**15**, 141-159
- 白井成雄 (2006) 「フランスの高校 (リセ) の哲学教育について」弘前大学哲学会『哲学会誌』**41**, 33-37
- 戸田山和久 [編集担当] (2006) 「シンポジウム「哲学教育をめぐる」に関するアンケート結果」『中部哲学会年報』**38**, 34-36

- 浜渦辰二 (2006) 「報告：看板を「哲学」から「人間学」に替えた一つの試み」『中部哲学会年報』 **38**, 1-11
- 林 克樹 (2006) 「良心教育としての哲学教育」SOCIETAS PHILOSOPHIAE DOSHISHA 『同志社哲學年報』 **29**, 36-55
- 藤本 温 (2006) 「哲学教育について—技術倫理の講義から」『中部哲学会年報』 **38**, 22-33
- 山田秀敏 (2006) 「教養科目としての哲学」『中部哲学会年報』 **38**, 12-21

2007年（平成19年）

〈雑誌特集・報告書〉

- 中部哲学会 [編] (2007) 「ワークショップ：哲学教育」『中部哲学会年報』 **39**, 41-67
- 日本法哲学会 [編] (2007) 「法哲学と法学教育——ロースクール時代の中で——」『法哲学年報』 **2006**, 1-149

〈論文・記事・ノート〉

- 浅野幸治 (2007) 「哲学教育の実践報告と提言」『中部哲学会年報』 **39**, 41-53
- 伊勢田哲治 (2007) 「哲学系一般教育のモデルとしてのクリティカルシンキング」『中部哲学会年報』 **39**, 54-65
- 亀本 洋 (2007) 「法哲学教育の標準化」日本法哲学会『法哲学年報』 **2006**, 115-127
- 北村隆憲 (2007) 「法科大学院及び法学部における法哲学関連科目に関する実態調査の概要」日本法哲学会『法哲学年報』 **2006**, 18-31
- 宮島光志 [集計] (2007) 「ワークショップ「哲学教育」に関するアンケート結果」『中部哲学会年報』 **39**, 66-67
- 山田八千子 (2007) 「法曹養成・法科大学院・法哲学教育」日本法哲学会『法哲学年報』 **2006**, 84-99

2009年 (平成21年)

〈論文・記事・ノート〉

- 青木滋之・井上 研 (2009) 「日本語で読める哲学系クリティカル・シンキング文献紹介」名古屋大学情報科学研究科情報創造論講座『Nagoya Journal of Philosophy』8, 97-117
- 稲垣恵一 (2009) 「ジェンダー教育と平等——哲学教育導入の試み——」『豊橋創造大学紀要』13, 101-110
- 上野 哲 (2009) 「芸術専門学校生に対する美術を用いた哲学教育」教育美術振興会『美術教育』292, 94-97
- 太田直道 (2009) 「道德教育の方位と哲学教育」教育科学研究会『教育』59 (9), 71-78
- 高橋文彦 (2009) 「法科大学院の現状と法哲学教育」日本学術協力財団『学術の動向』14 (9), 66-68
- 宗像 恵 (2009) 「制度としての哲学教育」『岩波講座 哲学15 変貌する哲学』岩波書店213-241頁

2010年 (平成22年)

〈論文・記事・ノート〉

- 稲垣恵一 (2010) 「初年次教育としての哲学教育—学問入門のための哲学—」愛知教育大学『教養と教育』10, 1-8
- 大谷 弘 (2010) 「高校倫理と大学における倫理学・哲学教育の連携に向けて (1) 分析哲学と科学論」『武蔵野大学政治経済学部紀要』2, 91-105
- 久保田祐歌 (2010) 「アメリカ哲学会の教育への取り組み——哲学教育に関する2つの提言の検討」『中部哲学会年報』41, 113-125
- 水本正晴 (2010) 「哲学に対するリアリズムと「食い違い」の合理性」北海道哲学会『哲学年報』57, 1-51
- 村上祐子 (2010) 「哲学教育の一環としての論理学教育の充実に向けて」日本科学哲学会『科学哲学』43 (1), 91-97

2011年（平成23年）

〈雑誌特集・報告書〉

私立大学情報教育協会〔編〕（2011）「人材育成のための授業紹介・哲学」『大学教育と情報 2011年度 No. 3』136, 13-21

名古屋大学高等教育研究センター〔編〕（2011）「特集 哲学者にならない人々のための哲学教育」『名古屋高等教育研究』11, 2-92

〈論文・記事・ノート〉

青木健太（2011）「哲学の授業」大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室『臨床哲学のメチエ』17, 34-36

青木滋之（2011a）「クリティカル・シンキング教育としての科学哲学教育」名古屋大学情報科学研究科情報創造論講座『Nagoya Journal of Philosophy』9, 83-99

青木滋之（2011b）「科学哲学の授業でクリティカル・シンキングをどう教えるか—授業実践からの報告—」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』11, 23-38

小野木芳伸（2011）「将来の哲学教育のために」中部大学『アリーナ』11, 394-400

加藤泰史（2011）「越境する哲学教育に向けて—非哲学科における哲学教育の可能性—」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』11, 83-92

金山弥平（2011）「哲学と幸福—ソクラテスの「哲学の勧め」とプラトンの高等教育—」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』11, 5-22

北野孝志（2011）「高専における哲学教育—カリキュラムデザインの観点から—」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』11, 51-65

鈴木貴之（2011）「哲学を専門とする教員は、哲学を専門としない学生に、哲学以外の何を教えたらいいいのか？」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』11, 39-50

瀬口昌久（2011）「工学を専攻する学生のための哲学教育」『名古屋高等教育研究』11, 67-82

田坂さつき・峰内暁世（2011）「遠隔通信を活用した生命倫理の授業」私立大学情報教育協会『大学教育と情報 2011年度 No. 3』136, 19-21

- 戸田山和久 (2011) 「特集：哲学者にならない人々のための哲学教育 特集の趣旨」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』**11**, 2-3
- 中山剛史 (2011) 「哲学教育における ICT の活用」私立大学情報教育協会『大学教育と情報 2011年度 No. 3』**136**, 16-18
- 長谷川吉昌 (2011) 「哲学教育の現場から一言語哲学の場合」『旭川医科大学紀要 (一般教育)』**27**, 15-41
- 村上 学 (2011) 「哲学の授業と ICT ～理工系の学生のための対話術入門～」私立大学情報教育協会『大学教育と情報 2011年度 No. 3』**136**, 13-15
- 山口信夫 (2011) 「最後の授業：近代フランスにおける哲学教育と哲学教師たち」岡山大学倫理学会『邂逅』**29**, 1-18

2012年 (平成24年)

〈書籍・学位論文〉

- ケイ, シャロン・トムソン, ポール／河野哲也 [監訳] (2012) 『中学生からの対話する哲学教室』玉川大学出版部

〈論文・記事・ノート〉

- 網谷祐一 (2012) 「博士論文を書き上げるまで——北米の科学哲学教育の一例——」日本科学史学会生物学史分科会『生物学史研究』**86**, 87-90
- 酒井雅子 (2012) 「哲学教育と言語教育の親和性——M. リップマンの「子供のための哲学」におけるノベル分析——」『全国大学国語教育学会発表要旨集』**122**, 355-358
- 坂本尚志 (2012) 「バカロレア哲学試験は何を評価しているか？—受験対策参考書からの考察—」京都大学高等教育研究開発推進センター『京都大学高等教育研究』**18**, 53-63
- 佐藤光友・松本啓二郎 (2012) 「子どものための哲学教育—プラトンの「洞窟の比喩」を端緒にして—」『大阪教育大学紀要』**60** (2), 109-119
- 佐野之人 (2012) 「対話形式導入による哲学講義改造の試み」山口大学哲学研究会『山口大学哲学研究』**19**, 1-25

- 島崎 隆 (2012) 「哲学は教育にどう役立つのか」日本科学者会議『日本の科学者』**47** (2), 22-27
- 長谷川吉昌 (2012) 「哲学教育の現場から一道德哲学の場合」『旭川医科大学紀要(一般教育)』**28**, 15-44
- 矢倉英隆 (2012) 「フランスの大学で哲学教育を受け、文化に根差すということを考える」医歯薬出版『医学のあゆみ』**241** (6), 486-490

2013年(平成25年)

〈雑誌特集・報告書〉

- 首都大学東京人文科学研究科人文学報編集委員会[編] (2013) 「フランスと日本の高校における哲学教育の現在」『人文学報』**481**, 85-101
- 山田圭一[編] (2013) 「子どものための哲学教育研究」『千葉大学大学院人文社会科学科学研究科研究プロジェクト報告書』**255**

〈論文・記事・ノート〉

- 入江俊夫 (2013) 「正しく考えることの難しさ—初等・中等教育の数学学習に対する哲学の寄与に関して—」『千葉大学大学院人文社会科学科学研究科研究プロジェクト報告書』**255**, 15-20
- 河野哲也・森田伸子・土屋陽介・村瀬智之 (2013) 「研究状況報告「子どもと哲学対話を——初等中等教育における対話型哲学教育の実践とその意義——」報告」教育哲学会『教育哲学研究』**107**, 214-220
- 田中智志 (2013) 「寄稿論文 カリキュラムと哲学教育」『学校教育高度化センター 2012年度 年報』, 108-112
- ドゥヴァリユー, アンヌ (2013) 「リセ最終学年以前への哲学の拡張？」首都大学東京人文科学研究科人文学報編集委員会『人文学報』**481**, 95-101
- 直江清隆 (2013) 「哲学教育ワークショップ「小中学校における哲学教育と教員養成」報告」日本哲学会『哲學』**64**, 106-107
- 西山雄二 (2013) 「はじめに [フランスと日本の高校における哲学教育の現在]」首都

- 大学東京人文科学研究科人文学報編集委員会『人文学報』**481**, 85-86
- マラン, クレール (2013) 「「デカルトの国」で哲学を教えること——難解だとされる教科の今日的争点」首都大学東京人文科学研究科人文学報編集委員会『人文学報』**481**, 87-93
- 村瀬智之 (2013) 「「哲学的探求とは何か」にかんする一考察—哲学教育の観点から—」『千葉大学大学院人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』**255**, 85-98
- 森 大徳 (2013) 「哲学教育と国語教育——中等教育における連携の可能性——」『千葉大学大学院人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』**255**, 115-127
- 山田圭一 (2013) 「巻頭言 子どもと哲学と教育と」『千葉大学大学院人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書』**255**, i-vii

2014年 (平成26年)

〈書籍・学位論文〉

- 河野哲也 (2014) 『「こども哲学」で対話力と思考力を育てる』河出書房新社
- リップマン, マシュー / 河野哲也・土屋陽介・村瀬智之 [監訳] (2014) 『探求の共同体 考えるための教室』玉川大学出版部

〈論文・記事・ノート〉

- 木村史人 (2014) 「哲学教育におけるピア・ラーニングの可能性」『立正大学哲学会紀要』**9**, 87-103
- 中田浩司 (2014) 「人間教育としての哲学教育—フランス・リセの哲学教育に関する一考察—」奈良学園大学人間教育学会『人間教育学研究』**2**, 139-150
- 芳賀高洋・大谷卓史・上村 崇 (2014) 「初等・中等教育の「情報モラル教育」のあり方を再考する～「情報安全リテラシー」教育と倫理・哲学教育の再整理～」『電子情報通信学会技術研究報告・SITE, 技術と社会・倫理』**114** (244), 11-16
- 長谷川吉昌 (2014) 「哲学教育の現場から—心の哲学の場合」『旭川医科大学紀要 (一般教育)』**30**, 27-39
- 福井 駿 (2014) 「問いを立てることを学習する哲学教育—米国初等後期用教科書

Philosophy for Kids の場合—」『日本教科教育学会誌』**37** (3), 23-32

藤井基貴 (2014) 「災害道德の教育——「防災道德」授業の実践と哲学教育への可能性」
静岡大学哲学会『文化と哲学』**31**, 21-40

藤田尚志 (2014) 「ソフィストの力 (アレテー) ——大学における哲学教育に関する若干の考察——」九州大学哲学会『哲学論文集』**50**, 75-102

松井貴英 (2014) 「哲学的思考法・クリティカルシンキングを活用した初年次教育の実践報告」『九州国際大学教養研究』**21** (1・2), 27-52

2015年 (平成27年)

〈書籍・学位論文〉

デリダ, ジャック / 西山雄二・立花 史・馬場智一 [訳] (2015) 『哲学への権利 1』
みすず書房

福井 駿 (2015) 『新しい哲学教育カリキュラム論の研究—自ら思考する市民を育てる学校教育のために—』広島大学教育学研究科

〈論文・記事・ノート〉

宇佐美公生・室井麗子・大森史博・板垣 健 (2015) 「子どものための哲学教育を介した道徳教育プログラムの開発プロジェクト」岩手大学教育学部プロジェクト推進支援事業『教育実践研究論文集』**2**, 1-6

オジュグ, タデウシュ・アダム (2015) 「日本における哲学教育の歴史と現状」『京都産業大学論集. 人文科学系列』**48**, 215-232

菊地建至 (2015) 「クリティカルシンキング入門は, 何をすることなのか (1)」『金沢医科大学教養論文集』**43**, 29-49

鈴木 宏 (2015) 「哲学概念の再考と哲学教育の課題—カントによる哲学の定位を基礎として—」『武蔵丘短期大学紀要』**23**, 9-14

直江清隆 (2015) 「市民形成の基礎としての哲学教育に向けて」東北大学哲学研究会『思索』**48**, 1-22

服部進治 (2015) 「社会科教育の土台としての哲学教育のすすめ——村井大介論文へ

の応答」全国民主主義教育研究会『民主主義教育21』9, 195-201

菱村幸彦 (2015) 「アランの『幸福論』と哲学教育」日本弘道会『弘道』123 (1097), 18-20

渡部 純 (2015) 「若者の政治的無力感を払拭するために—高校現場における政治／哲学教育の可能性—」朝日新聞社『Journalism』307, 103-110

2016年 (平成28年)

〈書籍・学位論文〉

デリダ, ジャック / 西山雄二・立花 史・馬場智一・宮崎裕助・藤田尚志・津崎良典
[訳] (2016) 『哲学への権利2』みすず書房

中島さおり (2016) 『哲学する子どもたち——バカロレアの国フランスの教育事情』河出書房新社

〈雑誌特集・報告書〉

日本学術会議大学教育の分野別質保証推進委員会 / 哲学分野の参照基準検討分科会
(2016) 『大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 哲学分野』

〈論文・記事・ノート〉

岩熊純子 (2016) 「東洋大学京北中学高等学校 哲学教育を柱とした人間教育—大学附属校として生まれ変わった伝統私学—」学事出版『月刊高校教育』49 (8), 10-15

オジユグ, タデウシュ・アダム (2016) 「今日の日本哲学教育とクリティカル・シンキング」『京都産業大学論集 人文科学系列』49, 145-160

木村史人 (2016) 「哲学教育におけるピア・ラーニングの実践例」『立正大学文学部研究紀要』32, 109-147

福井 駿 (2016) 「学校教育における哲学の授業に関する予備的考察」『岐阜工業高等専門学校紀要』51, 1-4